

令和7年度「運輸部門エネルギー使用合理化・非化石エネルギー転換推進事業費補助金
（新技術活用サプライチェーン全体輸送効率化・非化石エネルギー転換推進事業）」
に係る補助事業者の継続審査の結果について

令和7年度「運輸部門エネルギー使用合理化・非化石エネルギー転換推進事業費補助金（新技術活用サプライチェーン全体輸送効率化・非化石エネルギー転換推進事業）」に係る補助事業について、令和7年2月に継続審査を行った結果、次のとおり補助事業者を決定しましたのでお知らせいたします。

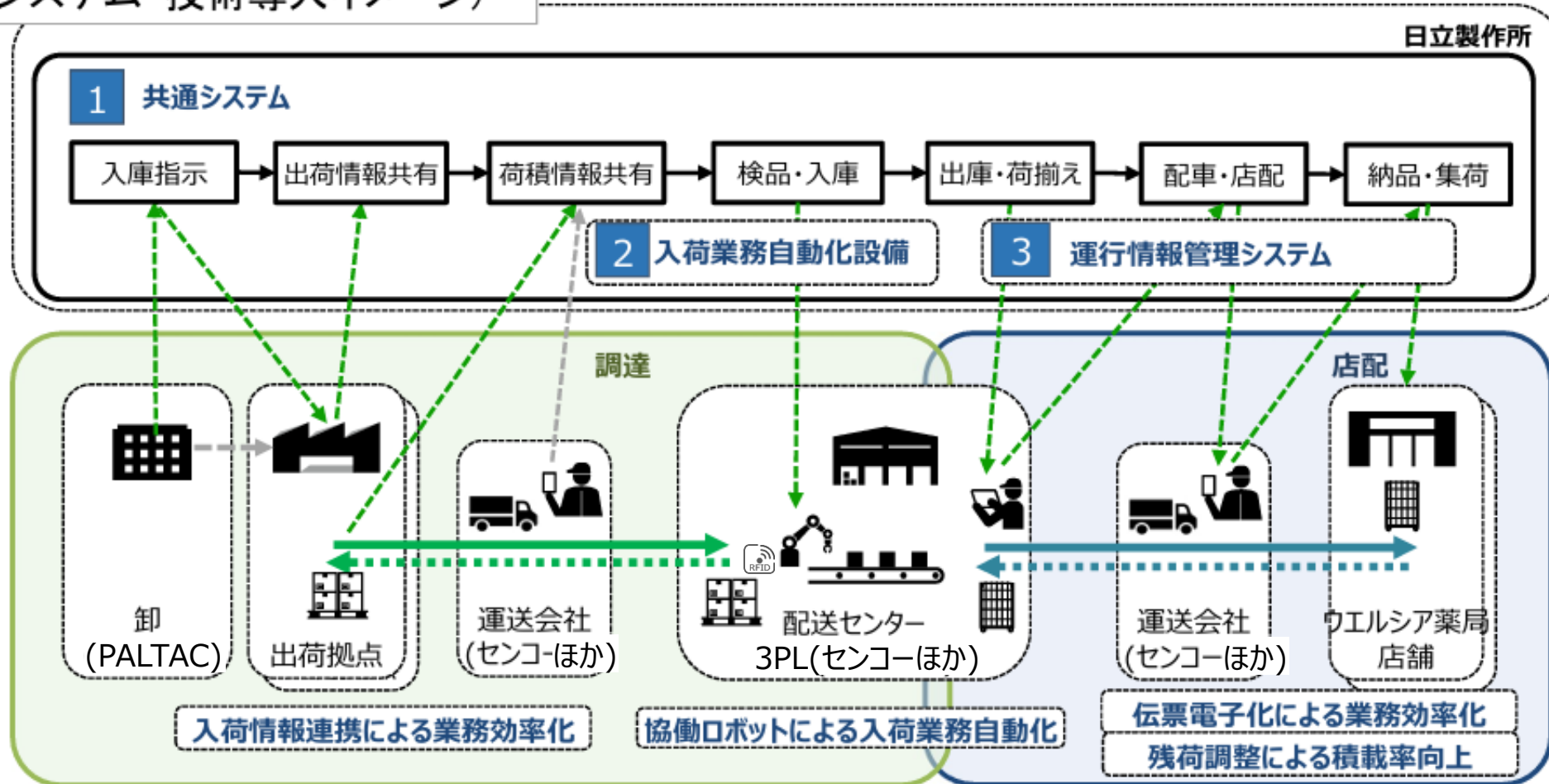
事業者	ウエルシア薬局株式会社
事業名	配送情報連携プラットフォームと自動化設備を利用したエネルギー消費削減実証事業 （メーカー入荷から店舗納品までサプライチェーン全体の輸送効率化）
補助金額	88,802,000円（補助率1/2 ※令和7年度のための補助額）
事業の特徴	サプライチェーンにおいて情報が非連続に管理されるという課題に対して、共通システムを用いた卸・メーカー・小売・輸送事業者間の荷物・車両情報の連携を行い、自動化設備も活用し、運行便数の削減や荷待ち時間の削減による輸送効率化を行い、エネルギー削減をめざします。
省エネ率	▲7%の省エネ効果を見込む

配送情報連携プラットフォームと自動化設備を利用したエネルギー消費削減実証事業

事業の概要

配送センターの入荷業務において、発注から納品までの情報分断によって発生する、未納品の探索などの課題に対し、共通システムを用いて一気通貫の情報連携を行い、車両の待機・滞留時間の削減など、消費エネルギーの削減を図ります。

(システム・技術導入イメージ)



1 配送情報連携
プラットフォーム
による情報共有

2 協働ロボットとRFID
活用による入荷業務
効率化

3 納品・回収伝票電子化
と残荷調整による
店舗配送・店舗間移動
の効率化

配送情報連携プラットフォームと自動化設備を利用したエネルギー消費削減実証事業

事業全体計画

令和7年度は、令和6年度で行った実証時の課題対応と本導入に向けた追加開発作業、パートナーを拡大した本導入までの費用を補助対象として実証事業を行います。

(実施内容別のスケジュール)

NO.	項目	補助対象	概要	R7年度
	システム設計・開発	○ ○	共通システム開発 (メーカーASN連携拡大) 共通システム開発 (RFID連携検証)	 
1	共通システム運用	○ ○ ○	配送情報連携プラットフォーム 基本サービス利用 配送情報連携プラットフォーム 運行情報管理サービス利用 補助事業事務局へ報告	  
3	運行情報管理システム運用	— ○	ドライバー用携帯端末制作 (増設分は補助事業対象外) 残荷機能展開	
2	入荷業務自動化設備	○ — ○	協働ロボット製作・設置 電源工事 RFID機器・検証作業	 

配送情報連携プラットフォームと自動化設備を利用したエネルギー消費削減実証事業

実施体制

- ウエルシア薬局：事業全体の統括。ステークホルダーに対して本サービスや自動化設備の利用環境を提供し、事業の利用促進を行います。
- PALTAC：ウエルシア薬局からの発注勧告を受けて、各メーカーに対して出荷指示を行います。
また、メーカーからの出荷予定(=配送センターの入庫予定)を本サービスに登録します。
- センコー：輸送・3PL事業者として配送センターの運営と店舗への納品を行います。入荷業務では、自動化設備などを使用した作業の省人化を図ります。また、店舗配送では、ドライバーに携帯端末を配備し、伝票の電子化に対応します。

< 申請者 >

代表申請者

ウエルシア薬局株式会社

共同申請者

株式会社PALTAC

センコー株式会社

< 協力 >

卸

株式会社あらた

メーカー

エステー株式会社

牛乳石鹼共進社株式会社

大塚製薬株式会社

フマキラー株式会社

ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社

共同倉庫

愛宕倉庫株式会社

大塚倉庫株式会社

SIP/物流情報標準ガイドライン適用支援

公益財団法人流通経済研究所

株式会社プラネット

技術提供

株式会社デンソーウェーブ

株式会社日立製作所